

羽生市版スーパー・シティプロジェクト

<p>概要</p>	<p>人口減少・少子高齢化の進行に伴い、地域が抱える課題も多様化してきている。各地域の特性に応じた拠点を配置することで効率的に課題解決を図るとともに、適切な交通ネットワークを形成することで、将来都市像「誰もが幸せを感じる、住み続けたいまち 羽生」の実現を図る。</p>
<p>課題</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・空き家の増加等による駅周辺の活力の低下 ・少子高齢化の進行等に伴う交通弱者の増加 ・激甚化、頻発化する災害への対応

	コンセプト(目的)	目標時期	検討したい取組(施策)	民間企業等の協力を得たい分野・内容
コンパクト	地域特性に応じた各拠点が紡ぐ魅力的なまちづくり	長期 (10年)	<ul style="list-style-type: none"> ・駅周辺の活性化 ・公共施設の複合化 ・空き家や空き店舗、空き地等の活用 ・企業誘致による雇用機会の拡大 	<ul style="list-style-type: none"> ・公共施設の複合化 ・商店街の活性化
スマート	デジタル技術が暮らしを支えるまちづくり	中長期 (5～10年)	<ul style="list-style-type: none"> ・DX推進等による市民サービスの向上 ・アプリを活用した情報発信力強化 ・デジタル技術の活用等による交通ネットワークの利便性向上 	<ul style="list-style-type: none"> ・デジタル技術の実装 ・アプリの機能拡充
レジリエント	安全・安心で持続可能なまちづくり	長期 (10年)	<ul style="list-style-type: none"> ・無電柱化等による防災・減災対策 ・災害時でも途絶えない電源の確保 ・再生可能エネルギー設備の普及等、循環型社会に向けた取組の推進 	<ul style="list-style-type: none"> ・EV活用 ・再生可能エネルギーの導入

羽生市版スーパー・シティプロジェクト

コンパクト

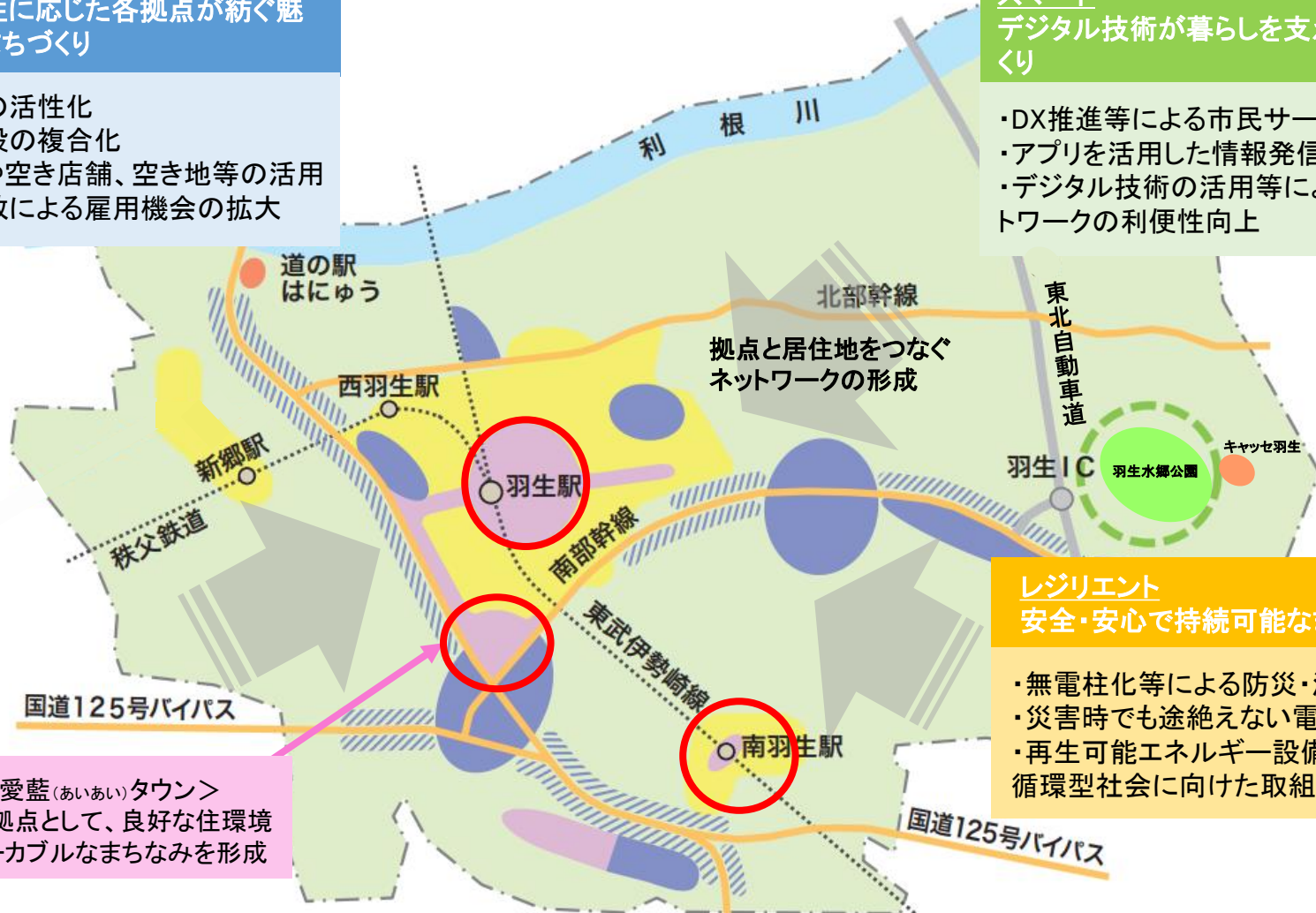
地域特性に応じた各拠点が紡ぐ魅力的なまちづくり

- ・駅周辺の活性化
- ・公共施設の複合化
- ・空き家や空き店舗、空き地等の活用
- ・企業誘致による雇用機会の拡大

スマート

デジタル技術が暮らしを支えるまちづくり

- ・DX推進等による市民サービスの向上
- ・アプリを活用した情報発信力強化
- ・デジタル技術の活用等による交通ネットワークの利便性向上



拠点と居住地をつなぐネットワークの形成

レジリエント

安全・安心で持続可能なまちづくり

- ・無電柱化等による防災・減災対策
- ・災害時でも途絶えない電源の確保
- ・再生可能エネルギー設備の普及等、循環型社会に向けた取組の推進

<愛藍(あいあい)タウン>

新たな拠点として、良好な住環境とウォークアブルなまちなみを形成

凡	例		
	住居系ゾーン		工業系・流通系ゾーン
	商業系ゾーン		企業誘致検討ライン
	農業共生ゾーン		農村・観光交流エリア

 拠点

※上記は現時点の想定であり、変更となる可能性があります。また、全ての拠点を示すものではありません。